


筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ

山行報告書 <party wandering>

山行名：新緑の尾瀬～燧ヶ岳はまだ早い？～		
日程：2007年6月16日（土）～18日（月）		（前夜発 1泊2日+予備日1日）
C.L.：越後谷		
メンバー：山口、原田、広沢、塩谷		
アプローチ：車		
行き つくば→県道24号→国道408号→国道354号→県道19号→（谷田部IC）常磐自動車道 →東京外環自動車道→関越自動車道（沼田IC）→国道120号→国道401号→大清水 帰り 大清水→国道401号→国道119号→国道293号→国道119号→国道4号→一般道 →国道408号→国道294号→国道125号→つくば		
日時	場所	天候・状況・判断
6/16 0:30	大清水	つくばから4時間で大清水駐車場に到着。他に数台車が止まっていた。車内・外で就寝。
4:00	〃	起床。天気曇り。少し寒かった。
4:50	〃	大清水発。しばらくは広い林道が続く。途中に分岐があり、最初は右へ進み、後に左へ伸びる登山道を行こうとした。
5:05		登山道分岐にて溪流釣りの人と会い、登山道に藪が茂っていて通れないと言われる。分岐まで引き返し、左の林道に行くことにした。
		分岐写真  
5:10	大清水	分岐まで引き返す。今度は左の沼田街道へ進んだ。砂利道の林道がだらだらと続く。
5:53	一ノ瀬	休憩所にて一休み。コースタイム 22分短縮。
6:00	〃	一ノ瀬発。風強し。ここから登山道になる。ぬかるんでいて歩きづらかった。途中で木道となったが、濡れて滑りやすかった。
6:55	尾瀬沼山荘	尾瀬沼山荘着。一休み。コースタイム 35分短縮。少し肌寒く感じた。

7:09	〃	尾瀬沼山荘発。尾瀬ヶ沼をまわる。ぬかるんだ登山道と木道を交互に歩いた。途中に湿原があり、ミズバショウが多く咲いていた。だんだん天気良くなる。	
7:55	沼尻	沼尻休憩所着。一休み。コースタイム 29 分短縮。1 人 1 回 200 円の有料トイレあり。広い湿原が眼前に広がる。	
8:10	〃	沼尻発。始めは平坦な木道、後に登山道と木道を交互に登る。天気良くなり、青空が見え始めた。	
9:22	下田代 キャンプ場	下田代キャンプ場着。コースタイム 28 分短縮。テント設営。C.L.以外空身で尾瀬ヶ原へ向かう。	
10:10	〃	キャンプ場発。尾瀬ヶ原周遊。湿原に臨む平坦な木道を歩く。天気良くなり心地良かった。人がとても多かった。	
11:19	ヨッピー橋 分岐	途中にあった看板で、ルートとなっている東電尾瀬橋が通行できないことを知った。そこでヨッピー橋を渡らず、エスケープルートとなっている分岐を右へ行く道に行くことにした。	
			
13:00	下田代 キャンプ場	下田代キャンプ場着。この日の行程終了。	
6/17	3:30	〃	起床。天気は快晴。風も弱かった。
	4:16	〃	キャンプ場発。分岐まで 1 日目歩いた道を引き返し、燧ヶ岳への登山道を歩く。始めは平坦な上りだが、後に岩の多い急斜面となった。凍った残雪がかなり残っており歩きづらかった。軽アイゼンは持っていたが、使うまでもないと判断し使用しなかった。
	5:19	1800m 付近	一休み。途中で登山客が 1 人いた。
	5:31		出発。頂上付近も岩が多かった。
	6:47	柴安嶺	柴安嶺着。ここまででコースタイム 1:15 短縮。快晴で見晴しが良かった。
	7:20	〃	柴安嶺発。残雪のある急斜面を下った。少し危険だったが、メンバーにとっては問題なかった。
	7:50	俎嶺	俎嶺着。ここもまた眺めが良かった。

8:08	〃	俎岨発。下るにつれ残雪はなくなった。雪解けの影響か登山道に水が流れ歩きづらかった。この間に団マットを落とす。
9:30	1800m 付近	一休み。C.L.の持っていた団マットが無くなっているのに気づく。
9:53	〃	出発。道がだいぶ緩やかになる。
10:30	長蔵小屋	長蔵小屋着。後から来た人から高校生のパーティが団マットを拾ったと教えてくれたため、パーティの人たちが降りるのを小屋手前の分岐で待つ。後にパーティに会い、拾っていただいた団マットを回収した。
11:03	〃	長蔵小屋発。尾瀬ヶ沼周辺を木道で歩く。人が多かった。
12:00	一ノ瀬	休憩所着。一休み。
12:25	〃	休憩所発。再び砂利道の林道を歩く。
13:05	大清水	大清水着。全行程終了。

反省・感想

- ・ 広沢
山行に慣れ、余裕ができた。ステップや読図がまだうまく出来なかった。
- ・ 塩谷
ケガなく下山できて良かった。パッキングが遅い。浮石を踏んだり、滑ったりした。
- ・ 原田
長期に向けての反省ができた。体力的に余裕が無かった。
- ・ 山口
天気が良かった。ペース確認が不足していた。
- ・ 越後谷
一週間前は雨と言われていたが、実際言ってみて天気が良かったので景色を堪能することができた。広沢、塩谷も慣れてきたようで朝の行動が早かった。全体的にペースが速く、疲れたメンバーもいたようだ。個人的な反省として、ルートの確認が不足していた点、団マットを落としたことに気づかなかった点が挙げられる。どちらも無事に解決したから良かったが、致命的な事態に陥る危険もあったため重々気をつけたい。

今後の課題

- ・ ルートは細部までよく確認しておく。登山道が通れるかどうかの情報を警察やネットから入手しておく。
- ・ 装備をザックの横に付ける際は、外れることのないようしっかり固定する。なるべく外に出さずに中にしまう。